

| | |
|---------------------|----|
| 2008年安全安心の大学病院へ | 1P |
| 事務職員アンケート - 報告 - | 2P |
| 教研集会「大学の財政を斬る!」のご案内 | 4P |
| 2008年 新年会のご案内 | 4P |

2008年 安全安心の大学病院へ

今年の4月から附属病院では、7：1看護を実施しよう準備を進めてきています。

この実施に伴い、看護師数は150名増え、現在の1.25倍化へと大幅な増員となります。

組合では、高度医療を実施する金沢大学にとって、安全安心の医療と看護の整備は重大な問題として、看護体制の充実を求めてきた立場から、今回の増員を大いに歓迎したいと思います。

しかし、7：1看護が働く看護師にとって看護充実や働く条件改善ではなく、収益の拡大追求のあまり、負担増と看護の後退に向かうとすれば、本末転倒といわなければなりません。

組合として、7：1看護の実施にあたっての準備状況や新人への対応などに関する協議を求めてきましたが、その対応は極めて不十分といわざるを得ません。そこで、病院問題を中心とした団体交渉を実施することにしています。

新人受け入れは万全の体制で - 退職防止のカギ

7：1看護へ移行しても、看護師数の維持は至上命令となります。これまで以上に退職防止が大切になってきます。

その為には、これから入職の新人が安心して職場に定着できる条件を整えることがまず大切です。

組合では、通勤の為に駐車場の確保、生活の元になる居住の保障、更衣室や仮眠室、休

憩スペースの確保など、基本的な条件整備が大前提と提案してきました。しかし、寮の問題一つとっても、寮は86室で新人受け入れには不足です。大学では、「退寮を奨めてはいない」と説明して

いますが、組合アンケートでは回答者の4人に1人が退寮を求められています。また、退寮を決めた方の6割が「退寮しなかった」と回答しています。仮眠室はむしろ削減、駐車場の

問題も明快な対策は示されないままです。

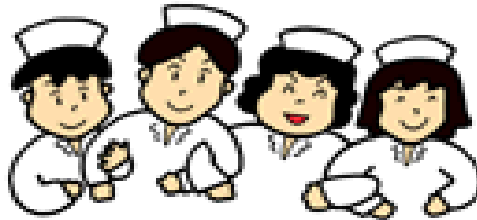
こうした条件面で、働く看護師の立場での不満がつのる対応が続くなら、これまでの退職傾向は改善できません。

勤務体制の変更は十分な検討、看護師の了解前提で
 また、採用条件で「3交替夜勤」と明示し募集をしていますが、今、大学では全体に明らかにされないまま、3病棟で「2交替」夜勤の試行が行われているようです。組合への情報によると、2交替の試行にあっても、事前に看護師の意見を聴取したり、休憩・手当・全体の業務の見直し・試行の検証方法等の説明がされないまま実施されているところが多いようです。

新人教育体制も長いスパンでの充実を

先輩看護師にとっても7：1看護は大変です。大量の新人看護師を受け入れ、その教育の負担が重くかかってきます。しっかりと新人教育をしたいというのが看護師の願いです。大学は教育の専任配置を検討していますが、日常業務を抱えての配置や、配置に伴い残ったスタッフに過重な負担が増大することはなんとしても避けたいものです。新人教育が大学のいう「2ヶ月程度」で済むはずはありません。もっと長いスパンで、看護師全体のレベルアップにつながる工夫を求めたいと思います。

こうした点での、皆様のご意見をお寄せ下さい。



| | | | |
|----|----------|------|------------|
| 1 | 退寮を求められた | 退寮する | 本当は退寮したくない |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | 求められていない | しない | もともと退寮の予定 |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 16 | | | |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |
| 21 | | | |
| 22 | | | |

入寮者アンケート 2007.11実施
 (入寮者68名、回答者22名)

事務職員アンケート - - 5人に1人から回答 - - 「新たな人事評価制度」53名が「知らない」、「求められる能力」

今回、部長を含む423名の事務職員にアンケートをお願いしました。回答は5名に1名にあたる、82名の方から寄せていただきました。アンケートにご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。
年齢・性別・職名・職務についてはグラフをご覧ください。

各質問項目に関する回答は次の通りでした。

大学の各段階での審議や決定等に関する「情報がどう伝達されるか」では「資料の回覧44」と「メール24」が圧倒的で、情報が一方通行になっていないか、必要情報の丁寧な徹底が保証されているのかが気になりました。

「法人化後の昇任人事」については、金大としての努力を反映してか「『生え抜き職員』の課長等への昇任増28」がトップで「課長以上がほとんど学外採用7」を大きく超えて評価されていることが特徴でした。しかし、「昇任基準が明らかでない27」も引き続き大きなポイントとなっています。自由記載でも、それを反映した意見が多く、「昇給がないため士気が低下」という意見も重要かと思えます。

「異動」については、「内示が遅い33」「希望にかなっていない16」「拒否できない11」等が多い意見でしたが、自由記載で「異動の理由、職員育成に関する・・・方向性が示されない」という意見は、今の異動の問題点を示しています。

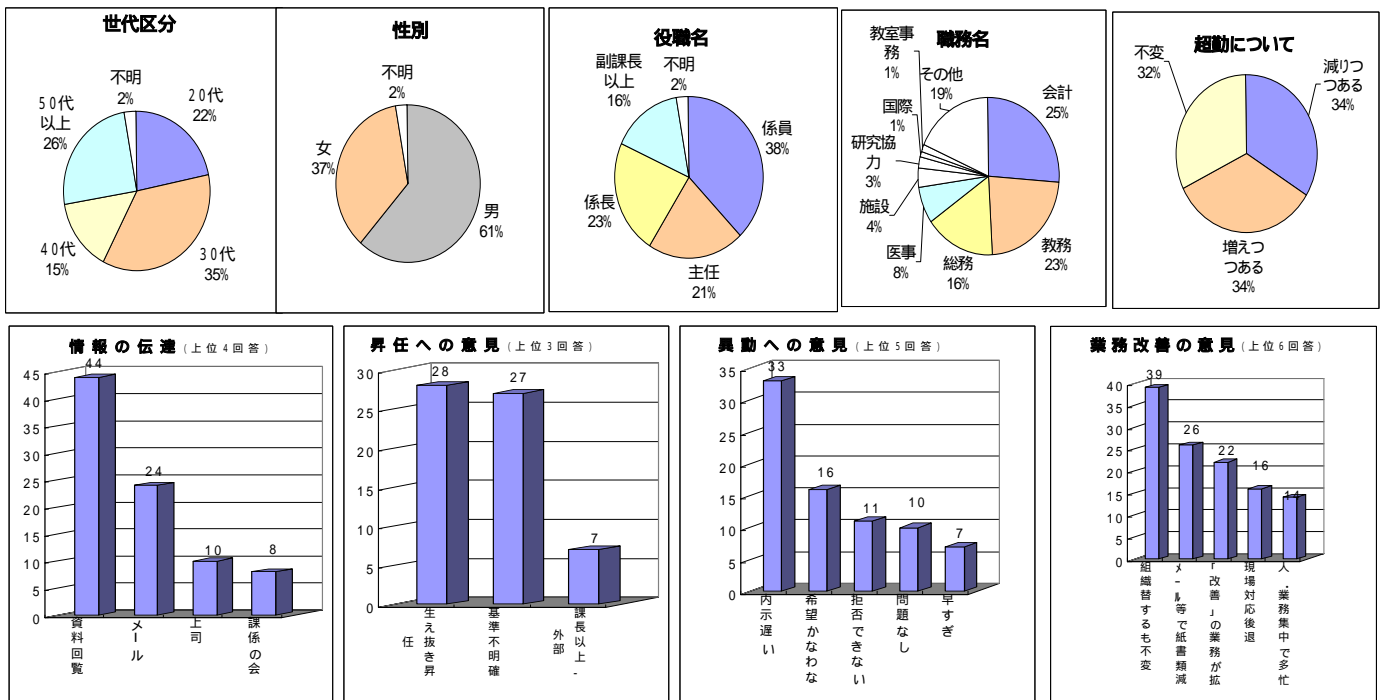
事務の「業務改善の現状」については、複数回答で回答をお願いしましたが、「組織替するも不変39」「『改善』のための業務が拡大22」「集中化で現場対応が後退16」「集中化で多忙化14」等否定的意見が大きく、改善面では「メール等で紙書類減少26」が目につく程度でした。

自由記載で「人員削減ばかり」「意識改革が必要」「ムダな仕事」などキーワードがいくつか触れられており、次の「業務改善で業務・手続き等で、廃止した方がよいものは」に対し「たくさんある」との複数回答も含め、今後一層の努力と工夫が求められる分野かと実感されます。

「グループ制」についても質問しましたが、「なっている」は17名で、その評価としては「評価6・不評5」で半々でした。自由記載で、「旧体質が残っていて協力体制が不備」との回答があり、これからの「分掌」と「協力」の新しい挑戦の必要性が求められていると思われます。

「健康」については、半数の方が「不安はない36」の回答でした。一方、「精神的疲れ18」「日常的疲8」もあり、今後注意が必要です。

「超勤」については、「減27」「増27」「不変25」と3分となりました。その理由として「減」では「業務改善10・不要業務の縮減10」、「増」では「仕事量多10・人員配分に偏り9・人員削減6・教育研究組織の改編6」が上げられています。



ご協力ありがとうございました は「問題・課題解決能力」トップ

「超勤管理」については「自己判断上司現認27・申請後上司命令22・自己判断自己申告19」となっていますが、「超勤手当」で、「全額支払47」は当然としても、「『上限』に合わせ自己申告14・時間が削減される5」と4人に1人が正当な支払いを受けていないことは重大な問題です。「金沢大学では、そんなことはない」と胸を張っていた大学管理者としての責任が問われるといえます。その早急な解消を求めたいと思います。

「新たに事務職員に求められる能力」としては、複数回答とはいえ、延べ288回答（平均3.3項目）の回答が寄せられ、事務職員の意欲と熱意が伝わってきます。

全体として、また自らも身につけたい力として「問題・課題解決能力」がトップに上げられているのが、今の大学の現状を如実に示しているのかなと思われま。

「大学等を良くしていくための教員との関係」については、「教員の理解36」「目的への共通理解23」「意思決定への事務職員の参画18」の順でした。自由記載でも「自分のことは自分で責任を持ってやって」との意見が複数見られ、事務・教員各々の立場を理解した上での協力を強く臨んでいる事務職員の姿が浮かんできます。

「新たな人事評価制度」については、53名が「知らない」と回答。

その「是非」については、「意欲の向上21」「昇任等で(9)人事異動のため(7)必要」との歓迎の声と共に、「評価すること自体が困難31」「格差・競争拡大11」「上司の顔色をうかがう11」との批判的意見も多く、「運用にあたって」は「基準や運用を明確に36」「複数者評価29」「結果の本人への開示27」「評価者研修24」などへの要望が強く出されていました。また、重要な「評価の項目」として「業務姿勢（責任感・積極性）33」「協調性・チームワーク19」が1位、2位を占めました。

組合に対しては、「時間が取られる19」「メリットがない17」「組織が好きでない15」などの意見が多く、現代の多忙化の中での個人主義的な面の表れがはいま見られ

白馬岩岳スキーツアー のご案内



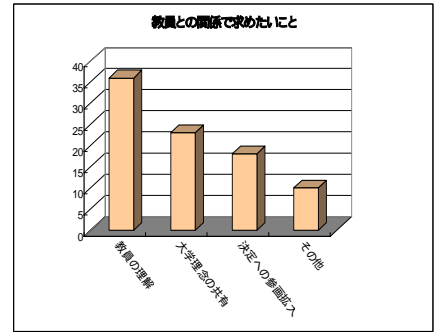
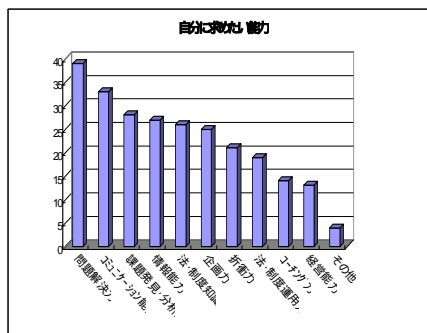
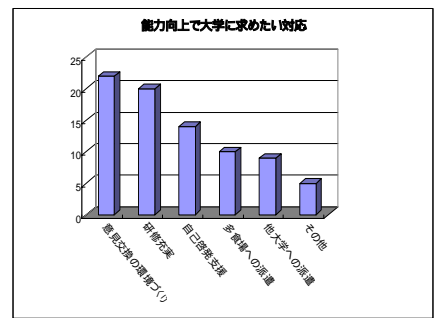
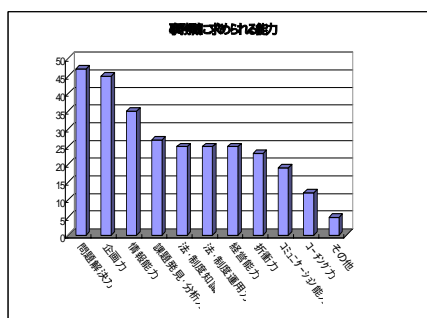
日時 2月16日(土)～
17日(日)の1泊2日
参加費(リフト券1日券付)
中学生以上9800円
(未組合員は10800円)
(リフト券なしの方は6800円)
詳しくは組合にご連絡下さい。

ますが、「よく知らない12」「きっかけがなかった10」等、組合としての十分な説明と働きかけの弱さも実感させられる貴重なご意見をいただきました。

また、自由記載の中では「事務ができるよう働きかけていただきたい」「権利主張だけでなく代替案を示して」というような組合に対する期待とも、励ましとも思えるご意見もいくつかいただき、改めて、組合の役割を認識しています。

今回、多くの組合員でない方からの回答もいただきました。金沢大学教職員組合として、こうした声も大いに参考にさせていただき、事務職員が生き甲斐をもって、新しい金沢大学創造の力を発揮していけるよう、一層努力を進めていきたいと考えています。

アンケートの結果に対するご意見やご提案をお寄せ下さい。



教研集会

金沢大学の財政を斬る！

人は毎年減らされる！
教育や研究予算、絶対的に足りない！

それなのに、金沢大学が赤字だって？
大学の財政はどうなっているの？

これから先の不安がつのるばかり・・・
こんな問題、一緒に考えましょう！！

日時 / 1月30日(水) 18:00~
会場 / 法経棟 2階A202教室



講演者
全大教委嘱公認会計士
坂根利幸氏



食事を準備します。参加の方は組合まで連絡下さい。
組合員以外の方もお気軽にご参加下さい。

金沢大学教職員組合

参加費
500円

2008年新年会

日時 / 2008年1月25日(金)午後6時30分~
会場 / すみれ亭 (角間・自然研図書館上)

楽しいゲーム等、企画も盛りだくさん
「08年3月末退職者の集い」
参加の方は支部・分会へお申し込み下さい



金沢大学教職員組合 加入申込書

きーりーとーりーせーん

ふりがな _____ 申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名 _____ (男・女) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

部局名 _____ 職場 _____ 内線 _____

職種 _____

連絡先 電話 _____

E-mail _____ (職場・個人用)